



# 第1回情報化推進懇談会

---



- 1 情報化推進懇談会の概要
- 2 第4期情報化推進計画の概要・評価
- 3 第5期情報化推進計画の策定方針
- 4 第5期情報化推進計画の  
ミッション・ビジョンの設計



# I 情報化推進懇談会の概要

# (1) 情報化推進懇談会の目的・アジェンダ・策定体制

## 吹田市情報化推進懇談会の目的

吹田市情報化推進懇談会は、吹田市情報化推進計画※1の策定、見直し及び進捗管理について、**幅広い観点から意見を求めること**を目的とする。

## 吹田市情報化推進懇談会のアジェンダ

### 第1回 情報化推進懇談会

**本日**

第5期情報化推進計画策定の進捗状況等を報告するとともに、計画の策定方針案の説明を行い、市の方向性に関して意見聴取を行います。



本日頂いた意見を参考に事務局で整理を行い、次期計画の骨格（第5期情報化推進計画(素案)）を作成します。

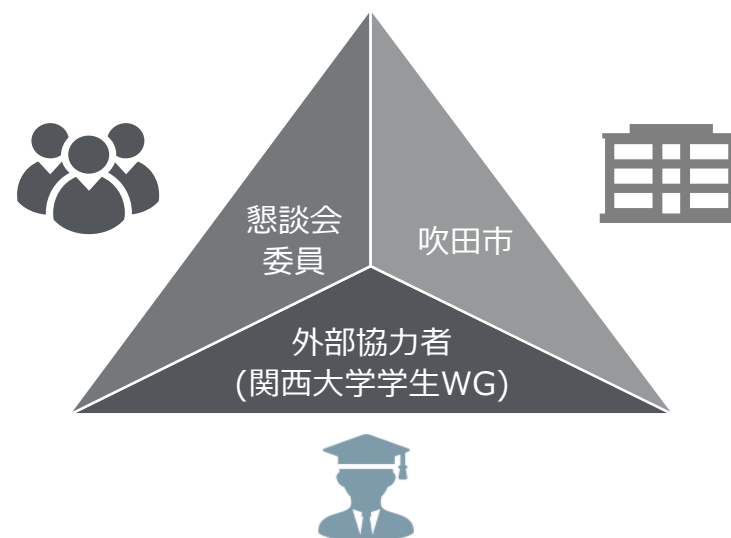
### 第2回 情報化推進懇談会

第1回情報化推進懇談会で意見聴取した内容等をもとに作成した「第5期情報化推進計画(素案)」に対して、意見聴取を行います。



全2回の懇談会でのご意見をもとに、「第5期情報化推進計画(案)」を作成し、吹田市情報化推進本部会議※2にて正式に決定します。

## 第5期情報化推進計画策定に向けた体制



**吹田市・懇談会委員・外部協力者  
(関西大学学生WG)で意見を交わし、  
次期計画策定を進めます**

※1 吹田市情報化推進計画：吹田市の総合計画を実現するため、情報化の観点から行政運営をデジタル前提で見直す「デジタル・ガバメント」の実現や、官民データの利活用など、市民の利便性向上・行政運営の効率化に重点を置いた市の個別計画

※2 吹田市情報化推進本部会議：本市における情報化の推進に関する戦略を決定する最高組織

## (2) 情報化推進懇談会の外部協力者(関西大学学生WG)

### 吹田市のポテンシャルを活かす

#### 吹田市の大学生数 (令和4年度)



3万9,652人



吹田市のポテンシャルのひとつである大阪府内大学生数1位という強みを活かし、**若者の力も借りた新しい価値観を取り入れていきます。**

#### 概要

関西大学様の学生にご協力をいただき、第5期情報化推進計画の策定に向けて、意見交換などを通して最後まで伴走いただきます。

#### 今までの活動

本懇談会での論点でもある5期情報化推進計画の根幹を担う考え方について、グループワークを実施し、柔軟な発想のもと様々な意見をいただきました。(詳細な意見については後述)

#### 今後の活動

本懇談会のご意見等をもとに、次回の懇談会にむけて、第5期情報化推進計画(素案)の策定に関して、引き続き意見交換を予定しています。

# (3) 第5期情報化推進計画策定のスケジュール概要

## スケジュール概要



## 【参考】第5期情報化推進計画計画策定におけるインプット情報

国・大阪府の方針	吹田市の方針・他自治体の動向	市民意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国の方針・法律                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針</li> <li>➢ 自治体DX推進計画 等</li> </ul> </li> <li>■ 大阪府                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大阪府スマートシティ戦略2.0</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 吹田市の方針                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 総合計画</li> <li>➢ 各所管課の実施計画</li> </ul> </li> <li>■ 他自治体の方針                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 他自治体の情報推進化計画</li> <li>➢ 情報化推進化計画アンケート</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民意見                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 市民アンケート (令和5年6月-7月実施)</li> <li>➢ パブリックコメント (令和6年2月実施予定)</li> </ul> </li> <li>■ 外部協力者                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大学生との意見交換 (関西大学) (令和5年7月-令和6年12月)</li> </ul> </li> </ul>



## 2 第4期情報化推進計画の概要・評価

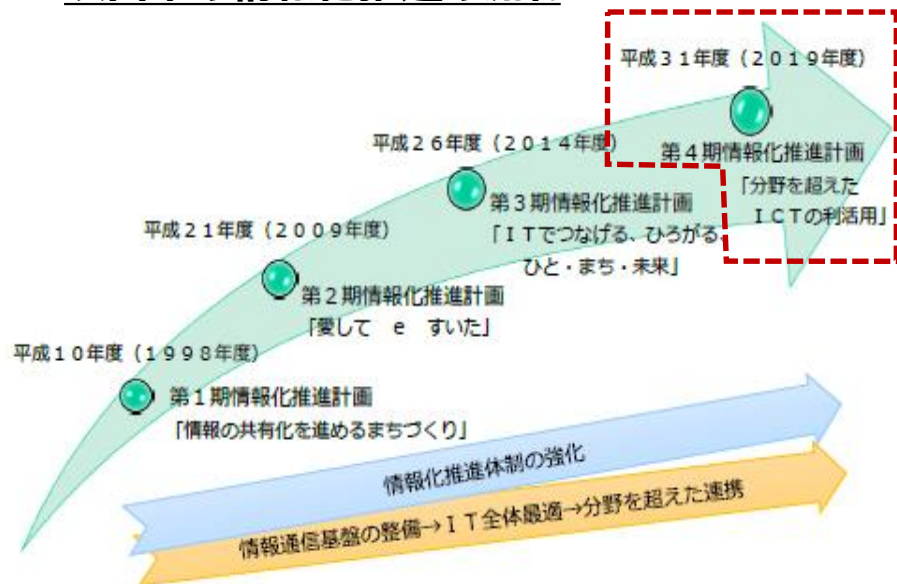
# (1) 第4期情報化推進計画の概要

## 基本理念

### 分野を超えたICTの利活用

少子高齢化に伴う税収入の減少、公共施設の老朽化等の行政資源の枯渇や、地域課題の複雑化に加え、災害や感染症の拡大に対し効果的で効率的な行政運営を進め、多様化する市民ニーズに応えていくことが望まれています。デジタルトランスフォーメーションを強力に推進し、分野をこえて庁内一体となり、あらゆる業務と組織に改革を起こし、なお一層の行政資源の効果的活用を進め、誰一人取り残さない安心・安全かつ便利なICTの利活用を、市民と共に進めていきます。

### ■ 吹田市の情報化推進の流れ



### ■ 計画の実施期間

2019年4月～2024年3月(5年間)

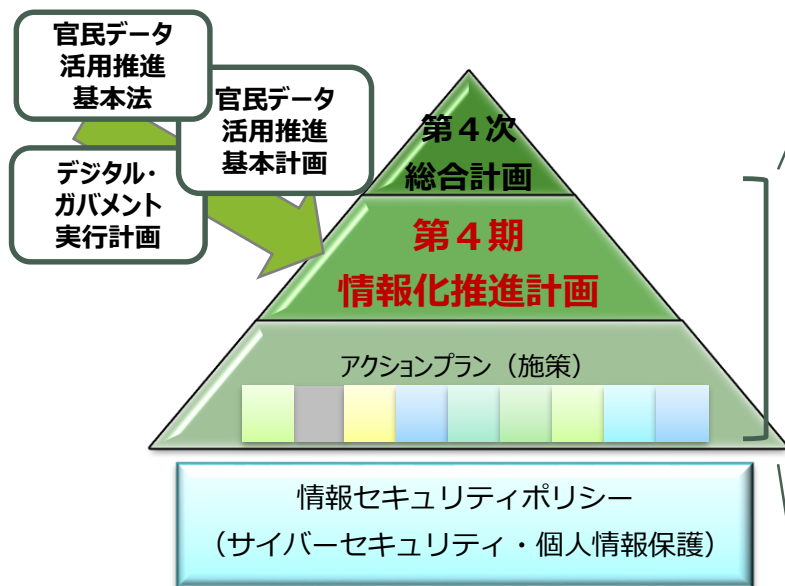
吹田市第4期情報化推進計画は、「吹田市第4次総合計画」に掲げる将来像の実現を目指し、情報化の側面から各行政分野の施策の方向性や方針を示し、支援していく個別計画として位置付け、「行政資源の効果的活用」を推進するために、「ICTの利活用」に関する具体的な取組を推進した。

第4期情報化推進計画の実施期間満了に伴い、次期計画の策定が必要です。



## (2) 第4期情報化推進計画の全体像

### 第4期情報化推進計画の位置付け



第4次総合計画の目的達成に向けて、国の戦略・取組の内容を盛り込みつつ、計画の基本理念・基本方針に則った「アクションプラン」を個別に策定することで、より詳細な達成目標や評価指標を定め、PDCAサイクルによって目標達成を目指した。

基本理念		
分野を超えたICTの利活用		
基本方針	取組	アクションプラン
市民のためのサービスライン	手続	①手続の電子化、②コンビニエンスストア等での証明発行の拡大、④Web施設予約システムの導入、②キャッシュレス決済の推進
	情報発信	⑤ホームページ等における情報発信の充実、⑥オープンデータの推進と地図情報の活用
市民を守るICT	福祉健康	⑧健康増進支援のためのシステム導入、⑨情報共有できるシステムの導入
	子育て・学び	⑩図書館資料の電子化、⑪入園事務支援のためのシステム再構築、⑫小中学校のICT環境の充実
	防犯・防犯	⑬施設のICT環境の充実、⑭災害時の情報収集の強化、⑮街頭防犯カメラの多目的利用の推進
業務改善を支えるICT	内部事務最適化	⑯会議の効率化、⑰文書管理事務等の電子化と効率化、⑱最新技術の活用と調査研究、⑳情報セキュリティの強化、㉑情報システムの標準化・共通化

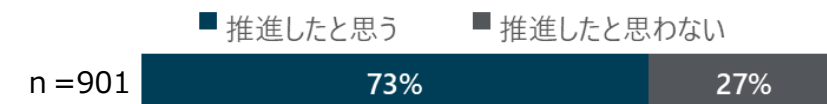
# (3) 第4期情報化推進計画アクションプランの評価

## ■ アクションプランの進捗

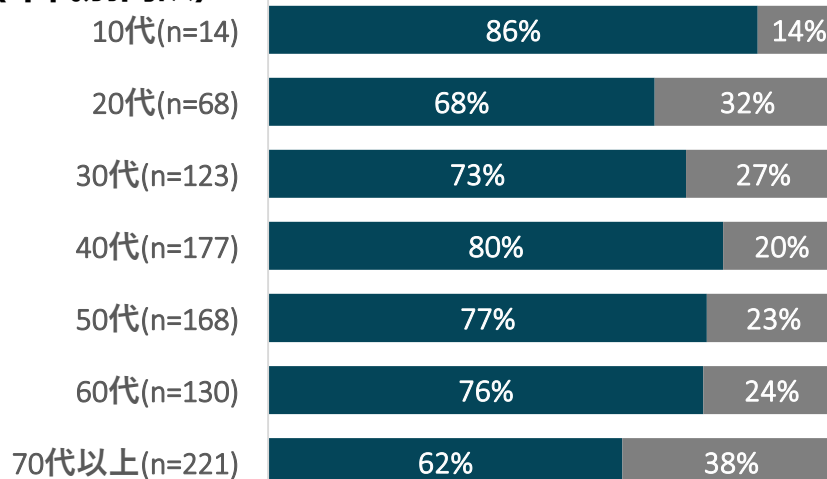
基本方針	プラン数※	アクションプラン(抜粋)
<b>市民のためのサービスデザイン</b>	達成10	①手続きの電子化 ②コンビニエンスストア等での証明発行の拡充 ④Web施設予約システムの導入 ⑫小中学校のICT環境の充実
	進行7	②キャッシュレス決済の拡充 ⑤ホームページ等における情報発信の充実
<b>市民を守るICT</b>	達成2	⑭災害時の情報収集の強化 ⑮該当防犯カメラの多目的利用の推進
	進行1	⑬施設のICT環境の充実
<b>業務改善を支えるICT</b>	達成2	⑯働き方改革の推進 ⑰最新技術の活用と調査研究
	進行3	⑱文書管理事務等の電子化と効率化 ⑲情報セキュリティの強化 ⑳情報システム等の標準化・共通化

## ■ 市民アンケート結果(抜粋)

【問】吹田市の情報化が推進したと感じているか



### 〈年代別内訳〉



**全年代60%以上の市民が「吹田市の情報化が推進している」と感じており、全体では73%の高い満足度であった**

※アクションプランの評価指標毎に集計



### 3 第5期情報化推進計画の策定方針

# (1) 第5期情報化推進計画の策定方針 (サマリ)



1

**イメージを掻き立てる**

イラスト活用等によって読みやすく・  
手にとってもらい吹田市の将来像を  
共有する



2

**全庁的な影響を与える**

総合計画の目的実現を補完し、  
各実施計画の目標を整理する



3

**デジタル化の加速に  
左右されない目標設定**

変化のある国の政策等を考慮し、  
デジタル化の加速スピードに左右さ  
れない目標を計画に盛り込む

## (2) 第5期情報化推進計画の策定方針 1

1. 市民に分かりやすく伝える

2. 計画の位置付けの見直し

3. デジタル化の加速に左右されない目標設定

第4期

課題

- 文章量が多く、手に取りづらかった
  - 情報化計画の内容や市のICT取組についてイメージが掴みやすいとはいえない整理となっていた

第5期

目指すべき姿

- **多くの市民に内容を確認してもらえる資料作り**
  - PPT等を活用し**イメージを掻き立て**つつ、多くの市民の目にデジタル化に対する本市方針を**理解してもらえる内容**とする

### 4期情報化推進計画(抜粋)

### イメージ※

第1章 情報化推進計画の策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

本市では、平成10年(1998年)に第1期情報化推進計画を策定してから、約20年にわたり、情報化推進計画に基づき、様々な情報化施策を進めました。この第4期情報化推進計画においても、本市の目指す将来像を示した「吹田市第4次総合計画」の目標や取組の方向性に沿って、本市の行政資源を効果的に活用し、より良い吹田市になるための情報化施策を定めます。

産業革命に匹敵するデジタルトランスフォーメーションの恩恵を最大限に得るための取組として、国は「世界最先端IT国家創造宣言」を行い、各種戦略を提示しています。本市は、その戦略の中の「地理空間情報活用推進基本計画」、「官民データ活用推進基本法」、「デジタル・ガバメント推進方針」の取組を盛り込んで、「第4期情報化推進計画」を策定しました。

本計画を策定することで、市民の利便性向上に重点を置き、行政運営をデジタル前提で見直すデジタル・ガバメントの実現や官民データの利活用について、明確かつ具体的に計画することができ、全庁的に促進することができます。また、本計画の「基本理念」及び「基本方針」に則った「アクションプラン」を個別に策定することで、より詳細な達成目標や評価指標を定めることができます。適正なPDCAサイクルによって目標の達成を目指すことができます。その結果、市民の利便性が向上し、行政運営の効率化等を効果的に実施することができます。

【図表 1-1】計画イメージ

コンセプト

本市は、暮らしにおける多くの面で水準が高く充実していることが特徴です。そのビジョンの実現にあたって、以下のコンセプトを設定します。

キャッチフレーズ

suitable city  
スイタブルシティ

ロゴ

Suitable City(スイタブルシティ)とは、「できる」という意味のラテン語である(Satis)と「家」(City)に由来することから、市民生活のあらゆる面で「できる」(Suitable)な暮らしを実現することを目指すこと。「できる」(Suitable)な暮らしを実現するために、市民生活のあらゆる面で「できる」(Suitable)な暮らしを実現することを目指すこと。その結果、市民生活のあらゆる面で「できる」(Suitable)な暮らしを実現することを目指すこと。

住 育 学 働 交 遊 活 健 安

文章中心からイラストを活用した分かりやすい内容の計画とする

※図は吹田市シティプロモーションビジョン(概要版)のものでイメージとして掲載しています

# (3) 第5期情報化推進計画の策定方針 2

1. 市民に分かりやすく伝える

2. 計画の位置付けの見直し

3. デジタル化の加速に左右されない目標設定

第4期

課題

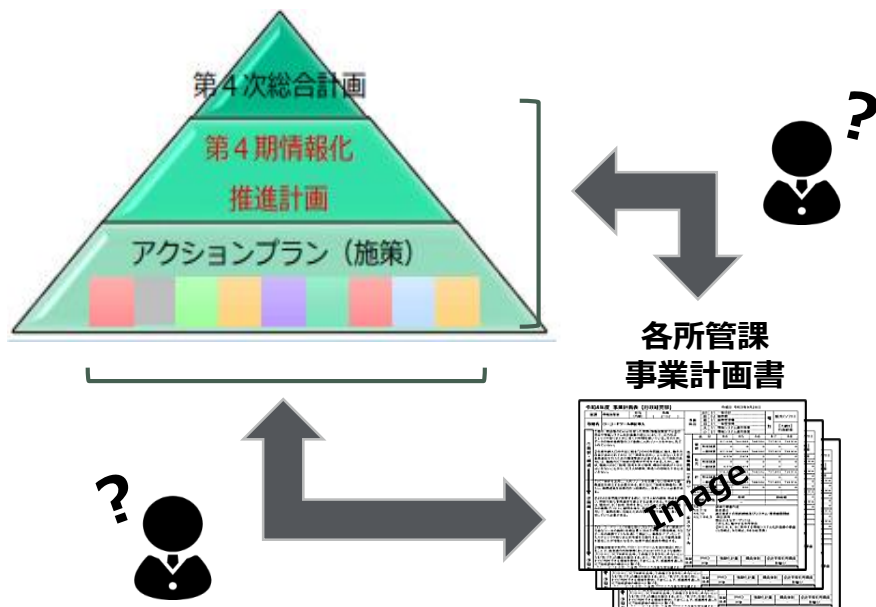
- 各所管課の計画との関係性が分かりにくかった
  - アクションプランを実現しても、総合計画・情報化推進計画の目的に直接影響しているか明確でない関係性であった

第5期

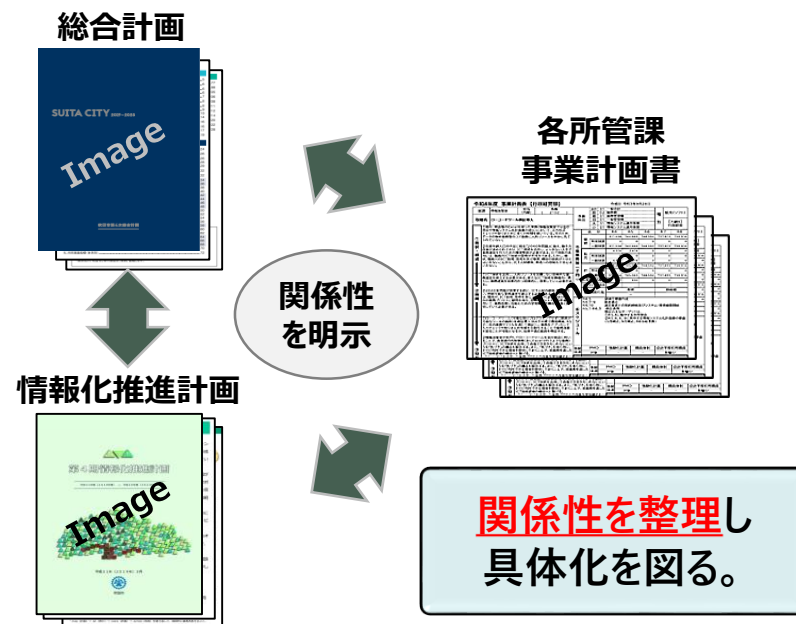
目指すべき姿

- **情報化推進計画の位置づけを再整理**
  - 市としての情報化推進のための方針を策定し、総合計画を補完する位置づけとして設定する。また、情報化関連の各事業計画書が目指すべき姿を明確にする。

第4期情報化推進計画の位置付け



イメージ (詳細は次ページ参照)

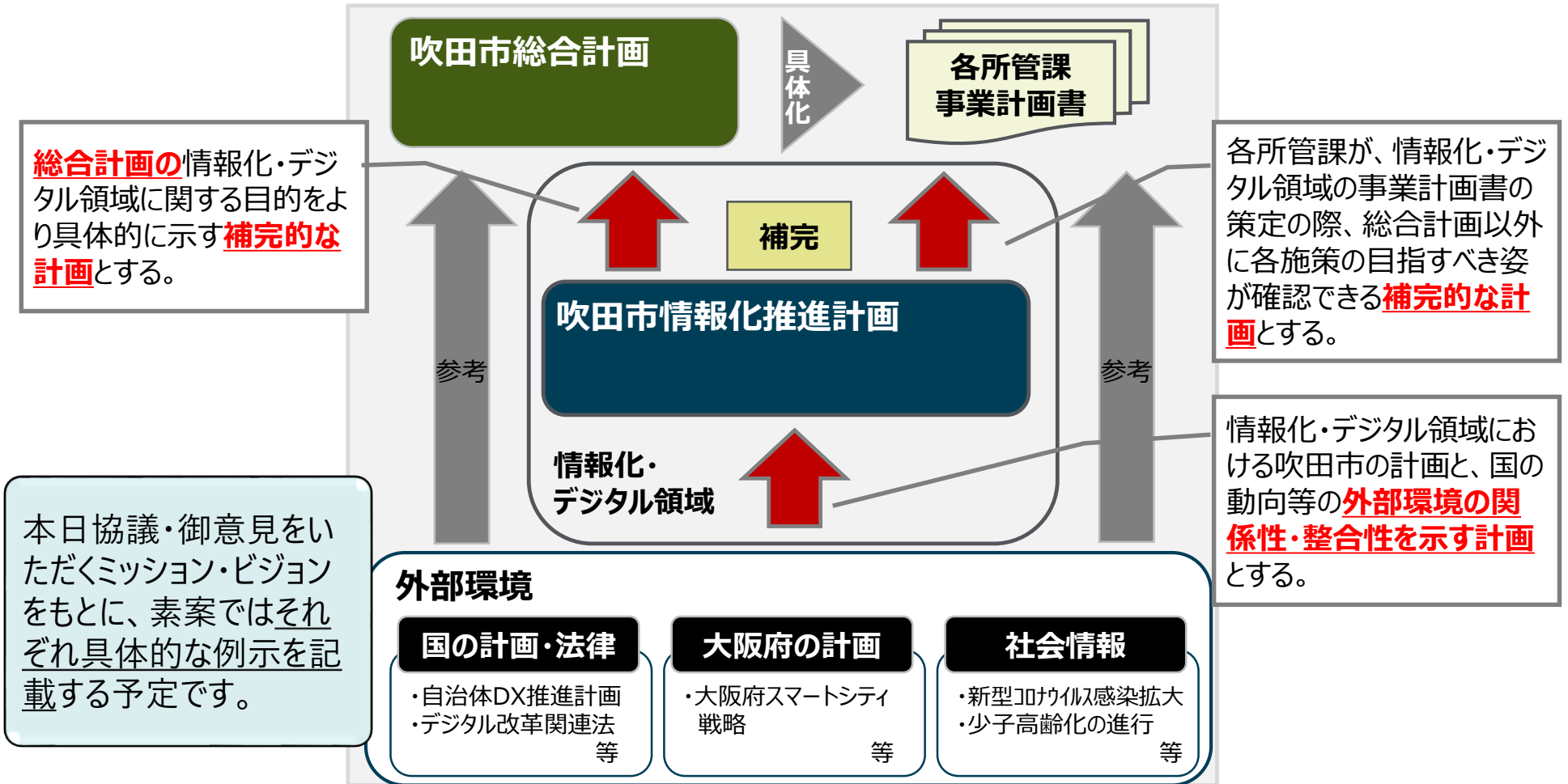


# (4) 第5期情報化推進計画 位置付け見直し(案)

1. 市民に分かりやすく伝える

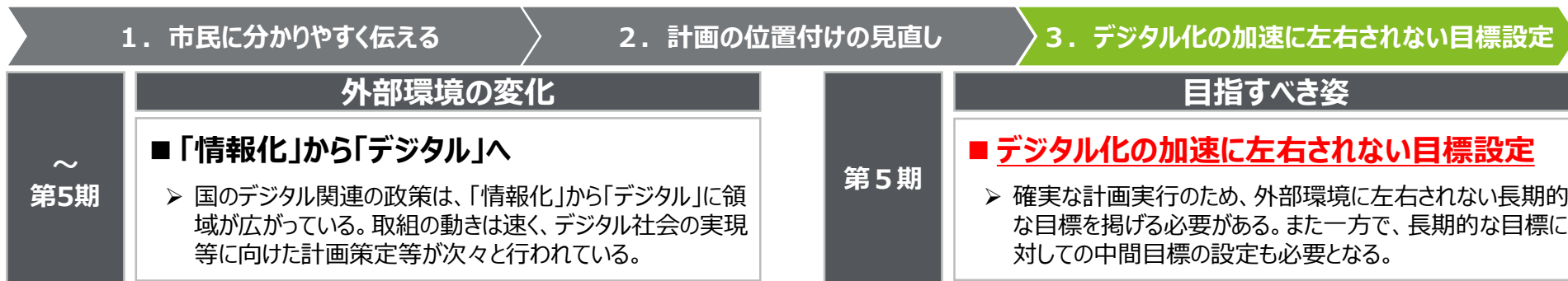
2. 計画の位置付けの見直し

3. デジタル化の加速に左右されない目標設定





## (5) 第5期情報化推進計画の策定方針 3

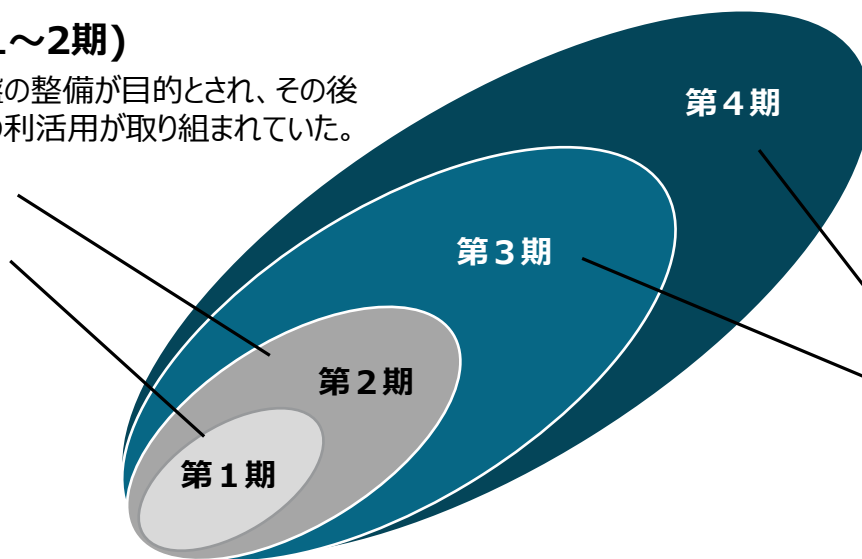


### 国のデジタル化施策の流れ

#### 【情報化の推進】(第1～2期)

ICTを利用するための基盤の整備が目的とされ、その後もICTインフラ整備とICTの利活用が取り組まれていた。

- ICTの利活用
- ICTインフラの整備



#### 【デジタルの推進】(第3～4期)

IoTの爆発的な普及といった環境を踏まえ、国民がデータの利活用を意識せず豊かさを実感できる社会の構築が開始。サイバーセキュリティを確保しつつITを最大限活用した簡素で効率的な社会システムを構築し安心と豊かさを実感できる社会を目指す

- デジタル社会の構築
- デジタルデータの利活用

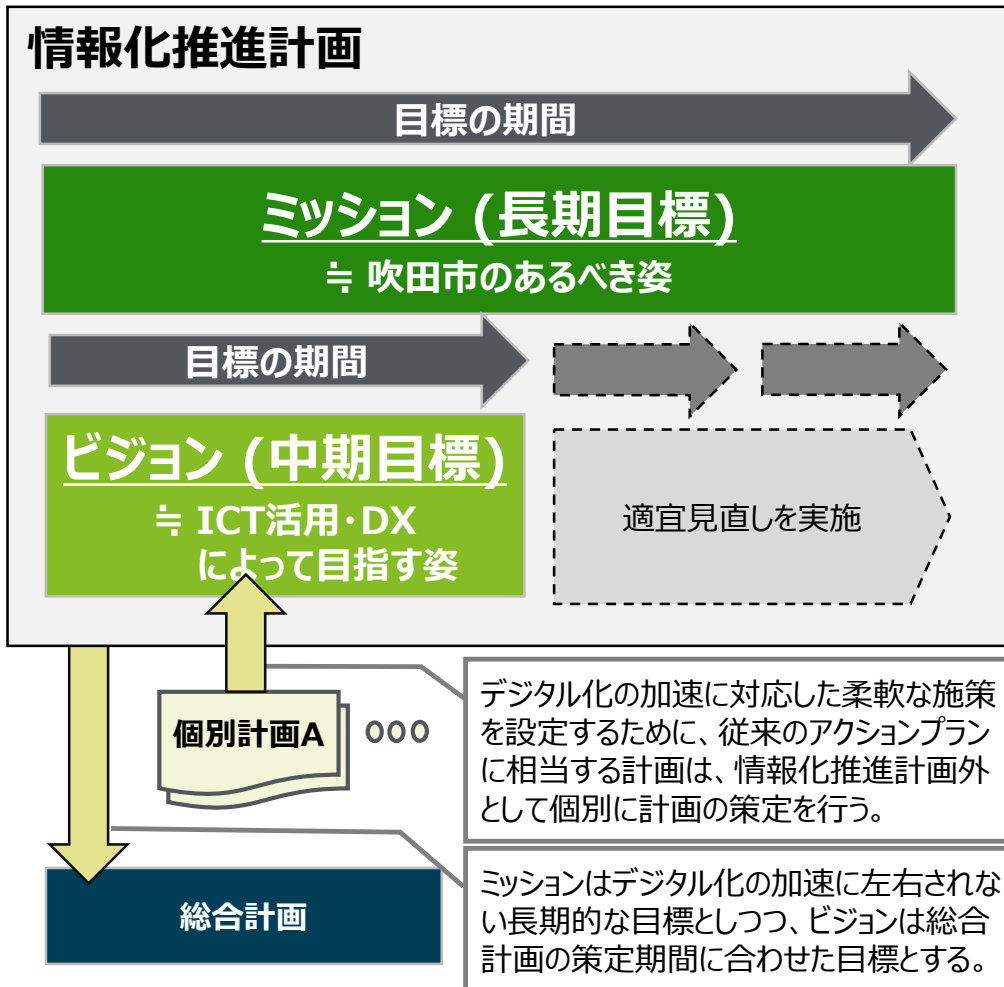


# (6) デジタル化の加速に左右されない目標設定“ミッション・ビジョンの定義”

1. 市民に分かりやすく伝える

2. 計画の位置付けの見直し

3. デジタル化の加速に左右されない目標設定



第4期情報化推進計画の考え方を踏襲しつつ、**基本理念・基本方針等の考え方をミッション・ビジョンに組み替える**形を想定する。

## 第4期情報化推進計画との関係

基本理念	分野を超えたICTの利活用
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のためのサービスライン</li> <li>市民を守るICT</li> <li>業務改善を支えるICT</li> </ul>
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>手続き</li> <li>情報発信</li> <li>福祉健康</li> <li>子育て・学び</li> <li>防犯</li> <li>内部事務最適化</li> </ul>
アクションプラン	手続きの電子化等の基本理念と基本方針に基づく施策群



## 4 第5期情報化推進計画の ミッション・ビジョンの設計

# (1) ミッション・ビジョンの設計前提 1 / 2

## ミッション・ビジョン設計に関するスケジュール概要

### 概要

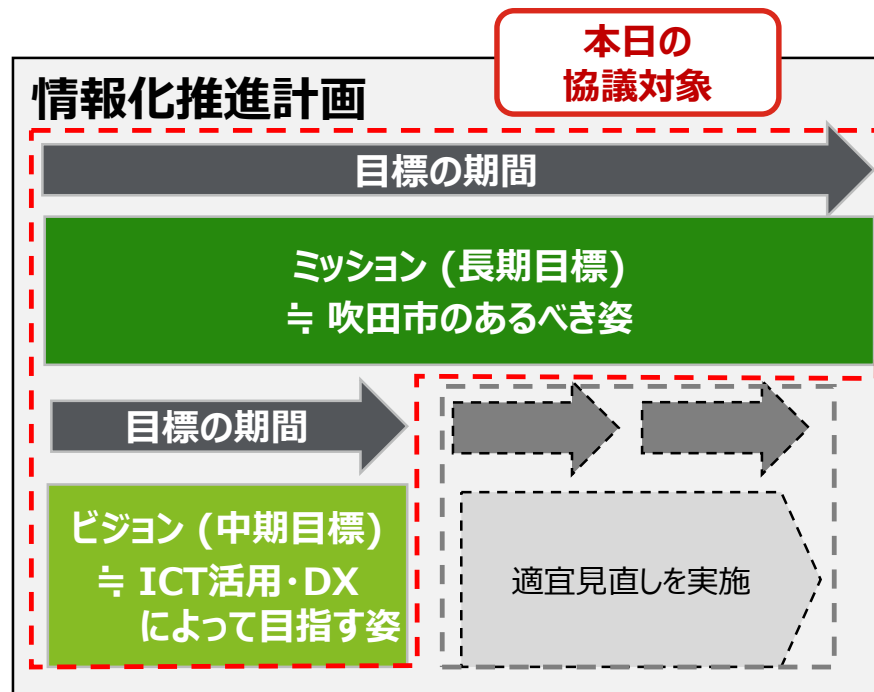
ミッション・ビジョン設計の視点を整理し、市民アンケートや外部協力者(関西大学)との意見交換結果をもとにキーワードの整理を実施。

**事務局が事前に整理した内容を一つの材料として、ミッション・ビジョンの案について、委員の皆様のご提案・ご意見を聴取。**

第1回情報化推進懇談会にて委員の皆様からいただいた意見をとりまとめの上、書面にて、ご内容を確認いただくことを予定。

第1回情報化推進懇談会と意見確認の内容を踏まえて第5期情報化推進計画の素案を作成し、ご意見をいただく予定。

計画策定後、外部環境の変化等により、ビジョン(中期目標)の見直しが必要となった場合、情報化推進懇談会を開催し見直しを行う予定。

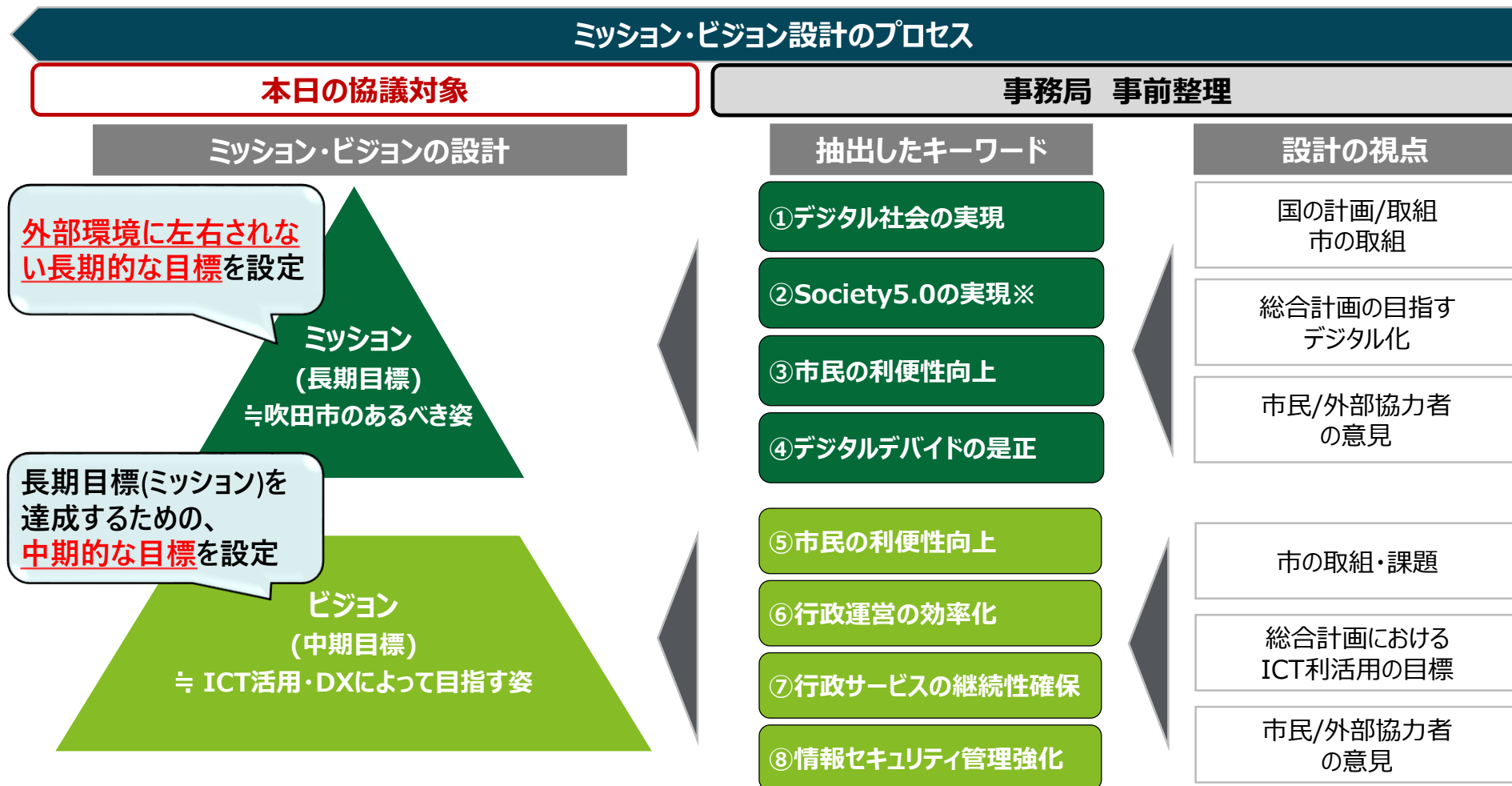


ミッション(長期目標)は、外部環境の変化等により見直すものではなく、計画策定後はビジョン(中期目標)を見直すことになることを想定しています。

**本日は、吹田市のめざすべき上記2つの目標の「フレーズ」「キーワード」となるべき内容やアイデアについて、皆様から御意見をいただきたいと考えております。**

## (2) ミッション・ビジョンの設計前提 2/2

### ミッション・ビジョン設計のプロセス概要



※サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

## 本日の協議対象

<b>ミッション</b> 懇談会案	吹田市のあるべき姿 XXXXXXXXXX	<b>ビジョン</b> 懇談会案	ICT活用・DXによって目指す姿 1. XXXXXXXXXXX 2. XXXXXXXXXXX
----------------------	-------------------------	---------------------	--

皆様の御経験等による、「吹田市はこうあるべき」とお考えの内容について、

**長期目標／中期目標となるべき**  
**「キーワード」「フレーズ」**  
**「キャッチコピー」「宣言」**

について、様々な御意見やアイデアを頂戴したいと考えています。

⇒本日いただきました意見等をもとに、事務局で整理いたします。

# (3) ミッション・ビジョンの設計

本日の協議対象

**ミッション**

吹田市のあるべき姿

XXXXXXXXXX

懇談会案 (例)  
デジタルの活用で誰もが恩恵を受けられるデジタル市役所の実現

**ビジョン**

ICT活用・DXによって目指す姿

1. XXXXXXXXXXXX  
2. XXXXXXXXXXXX

懇談会案 (例)  
1. 市民や企業とのつながり強化  
2. 人的・財的資産の有効活用

事務局 整理ワード

事務局 整理ワード

意見交換サマリ (関西大学 外部協力者)

- 安心×デジタル For Everyone  
～誰もが安心してデジタルを享受できる社会の実現～
- 安心・安全に誰もがデジタルを享受・活用できる
- デジタルであらゆる世代が吹田市推しになれる魅力的なまち

意見交換サマリ (関西大学 外部協力者)

- 市民の安心・安全の確保
- セキュリティ対策強化
- 世代間・世代内のデジタルデバйд対策
- デジタルを享受・活用できる環境整備
- 市民ニーズに合わせたサービス拡充
- 積極的な情報発信

① デジタル社会の実現

- ・希望の持てるまち
- ・世代を超えて尊重しあえるまち
- ・一人一人が活躍できるまち
- ・多様な幸せが実現できるまち
- ・豊かな市民生活の実現

② Society5.0の実現

③ 市民の利便性向上

- ・場所や時間に制限されず行政サービス享受
- ・ニーズにあった行政サービス提供
- ・手続きの手段に制約がない

④ デジタルデバйдの是正

- ・人に優しいデジタル化
- ・誰一人残さないデジタル化
- ・全員がデジタルの恩恵を受けることができる

⑤ 市民の利便性向上

- ・申請手段の多様化
- ・多様なニーズに応える
- ・市民がICTを活用できるようになる

⑥ 行政運営の効率化

- ・効率的な財政運営
- ・市民サービスの質向上
- ・内部業務改善・効率化

⑦ 行政サービスの継続性確保

- ・災害時でも迅速な行政サービスの提供 (情報発信)
- ・市民の安心と安全性の確保

⑧ 情報セキュリティ管理の強化

- ・個人情報の保護
- ・ICTを用いた犯罪の防止



吹田市  
Suita City

End of the documents.